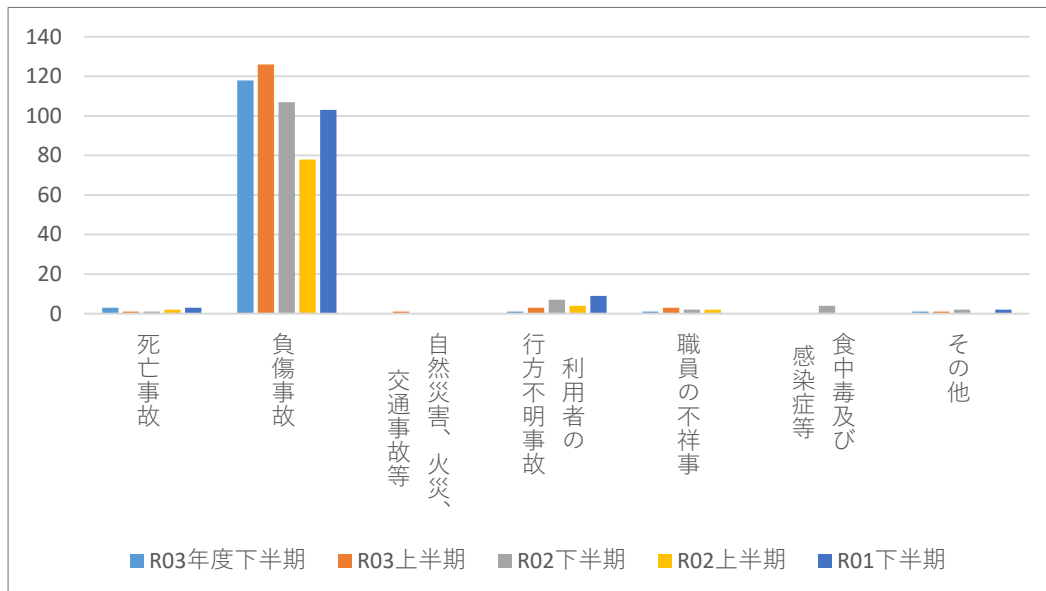


# 令和3年度下半期分(※)事故報告について

※ 令和3年10月1日から令和4年3月31日までの間に速報を受理した事故報告について集計を行ったものです

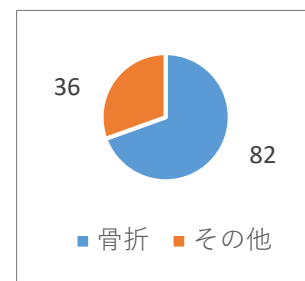
## 1 事故の種別

	死亡事故	負傷事故	自然災害、火災、 交通事故等	利用者 の 行方不明事故	職員 の 不祥事	食中毒及び 感染症等	その他	合計
R03年度下半期	3	118	0	1	1	0	1	124
R03上半期	1	126	1	3	3	0	1	135
R02下半期	1	107	0	7	2	4	2	123
R02上半期	2	78	0	4	2	0	0	86
R01下半期	3	103	0	9	0	0	2	117



令和3年度下半期の事故報告件数は、R02年度下半期以降ほぼ同水準となっており、介護保険サービス事業所からの事故報告は適正に行われていると推察されます。

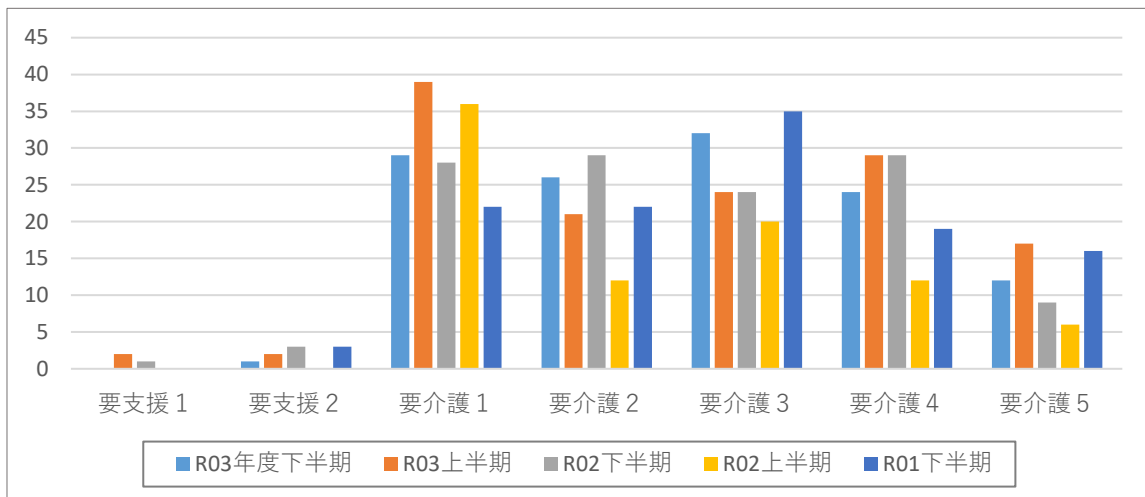
また、令和3年度下半期の負傷事故(118件)の内訳は、骨折が82件あり、全体の約7割でした。負傷事故における骨折の割合は令和3年度になってから増加傾向にあります。理由は「転倒」が圧倒的に多いため、引き続き利用者の見守りを充実させるよう指導していきます。



死亡事故は食事時の誤嚥による窒息によるもののほか、転倒による骨盤骨折に対する対応が遅れ、体内での失血死に至った事故がありました。尻もちをつく、歩いている間によろけて転ぶなどの転倒は日常的に起こっていますが、死に至る場合もあるということを広く周知し、転倒に対する早期対応を呼びかけていきます。

## 2 要介護度別事故発生件数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
R03年度下半期	0	1	29	26	32	24	12	0	124
R03上半期	2	2	39	21	24	29	17	1	135
R02下半期	1	3	28	29	24	29	9	0	123
R02上半期	0	0	36	12	20	12	6	0	86
R01下半期	0	3	22	22	35	19	16	0	117



## 3 事故発生サービス種別と時間帯

サービス種別	件数
通所介護／通所リハビリテーション	16
短期入所生活介護／短期入所療養介護	10
特定施設入居者生活介護	0
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	54
介護老人保健施設	17
認知症対応型共同生活介護	23
小規模多機能型居宅介護／看護小規模多機能型居宅介護	4
(合計) ※サービスには予防も含む	124

	宿泊系	訪問・通所系	合計
早朝 (6:00～8:00)	15	0	15
日中 (8:00～18:00)	47	16	63
夜間 (18:00～22:00)	20	0	20
深夜 (22:00～6:00)	23	0	23
不明	3	0	3
(合計)	108	16	124

要介護度別の事故発生件数では、要介護3以上が比較的高い水準で推移しています。これは、特別養護老人ホームでの事故が多いことと因果関係が認められると推察されます。24時間サービスを提供する施設系サービスは、事故発生件数が多くなる傾向がありますが、常に利用者の意思の尊重と安全確保のバランスを考えた支援にあたるよう、啓発を続けます。